

一般社団法人 日本生物物理学会
2018 (平成 30) 年度 事業報告
(2018 年 5 月 1 日～2019 年 4 月 30 日)

目次

1. 事業概要
2. 各事業詳細資料
 - 2-1. 学術誌・学術図書発行 (定款第四条第 1 号)
 - 2-2. 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催 (定款第四条第 2 号)
 - 2-3. 人材育成 (定款第四条第 3 号)
 - 2-4. 研究業績と技術的実践の奨励と表彰 (定款第四条第 4 号)
 - 2-5. 関連学術団体との連携及び協力 (定款第四条第 5 号)
 - 2-6. 国際的な研究協力の推進 (定款第四条第 6 号)
 - 2-7. 普及啓発活動
3. 付属明細
 - (付属明細 1) 処務詳細資料
 - ・総会・役員会等に関する事項
 - ・契約・入札・他に関する事項
 - (付属明細 2) 会員の異動状況
 - (付属明細 3) 事務局の現況 (2019 年 4 月 30 日現在)

1. 事業概要
主な活動は
 - 1) 学術誌・学術図書 (和文誌・欧文誌) の発行
 - 2) 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催
 - 2-1) 第 56 回日本生物物理学会年会の開催
 - 2-2) 会員総会シンポジウムの開催
 - 3) 人材育成：学会年会でのキャリア支援説明会の開催
 - 4) 若手奨励賞と学生発表賞について
 - 5) 生物科学学会連合への参画
 - 6) 国際的な研究協力の推進
 - 7) 普及啓発活動

7-1) Biophysics and Physicobiology の国際情報発信力強化

7-2) 小中高を対象としたセミナー講師派遣

7-3) ウェブサイトリニューアル

8) その他

8-1) 学会理事会での TV 会議の活用

である。以下にそれぞれを概説する。

1) 学術誌・学術図書（和文誌・欧文誌）の発行

和文誌『生物物理』第 58 巻 3 号～6 号、Supplement1-1（年会プログラム集）・1-2（年会予稿集：電子版のみ）、第 59 巻 1 号・2 号を刊行した。

欧文誌 Biophysics and Physicobiology（旧 Biophysics） Vol.15、Vol.16 を刊行した。

2) 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催

2-1) 第 56 回日本生物物理学会年会の開催

2018 年 9 月 19 日（火）～21 日（木）、岡山大学において、第 56 回日本生物物理学会年会を開催した。参加者総数：1,588 名、演題登録状況：一般演題 845 件（口頭発表 215 件、ポスター発表 630 件）、シンポジウム：276 件（若手奨励賞招待講演含む）であった。

2-2) 会員総会ワークショップの開催

学会年会における会員総会の直後に、会員総会シンポジウム「生物物理学の根本問題 #1：生物の物理的境界」を企画・開催した。

3) 人材育成：学会年会でのキャリア支援説明会の開催

研究者・学生の企業におけるキャリアアップを支援することを目的とし、年会中に、（株）アカリク吉野宏志氏によるセミナーを開催した。

4) 若手奨励賞、若手招待講演賞と学生発表賞について

年会において、若手奨励賞、若手招待講演賞、学生発表賞が授与された。

5) 生物科学学会連合への参画

生物科学学会連合定例会議に継続して出席した。

6) 国際的な研究協力の推進

学会のグローバル化を図るため、岡山年会において海外とのジョイント・シンポジウムを 2 件（中国、東アジア）開催した。

21st IUPAB International Biophysics Congress（2023 年）の主権に向け、国際関係委員会（IAC）の立ち上げについて議論を行った。

7) 普及啓発活動

7-1) Biophysics and Physicobiology の国際情報発信力強化

年会時の編集委員会の開催、編集委員長支援者の雇用など、Biophysics and Physicobiology 活性化のための取組を実施した。

2018年10月、ESCIに登録され、同月、Web of Science に収録された。

7-2) 小中高を対象としたセミナー講師派遣

2016年10月より、小学・中学・高校生を対象とした講師派遣サポート事業を開始した。本事業の趣旨は、初等中等教育の場で最先端の科学の魅力を伝え、次世代を担う子どもたちに科学に対する興味を育んでもらうことにより、学会として社会に貢献することである。学会は、派遣授業が可能な講師の情報をホームページ上で紹介し、学校からの希望を受けて各講師に依頼することにより、学校と講師の橋渡しを行う。

2018年度は、講師派遣5件、研究室訪問1件が行われた。

7-3) ウェブサイトリニューアル

2018年11月、学会ウェブサイトを全面的にリニューアルした。

8) その他

8-1) 学会理事会でのTV会議の活用

2015年12月より学会理事会へのTV会議システムの活用を始めた。2018年度はV-CUBEと契約し、第3回、第4回、第5回の理事会は、関西地区は大阪大学蛋白質研究所に、東京地区は東京大学工学部に集まり、他の地区の理事はそれぞれ自身のPCから中心となる会長室（大阪大学蛋白質研究所）へ接続することによって開催した。また、男女共同参画・若手支援委員会と出版委員会もTV会議システムを利用し、それぞれの委員でない理事はオブザーバとして委員会に参加した。

なお、face-to-faceによる理事会は、最低限2回（定時社員総会後の理事会および学会年会時の理事会）にて実施することとしている。

2. 各事業詳細資料

2-1. 学術誌・学術図書の発行（定款第四条第1号関連）																	
2-1-1]	<p>・第58巻3号～6号・第59巻1号・2号を刊行した。（A4版・隔月刊） 58巻3号 15記事68ページ 58巻4号 15記事63ページ 58巻5号 15記事62ページ 58巻6号 13記事62ページ 59巻1号 15記事77ページ 59巻2号 15記事59ページ</p> <p>【ダウンロード数（2018年5月～2019年4月）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>今期刊行号</th> <th>バックナンバー</th> <th>総計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学会 PDF 版</td> <td>5,415</td> <td>2,173</td> <td>7,588</td> </tr> <tr> <td>J-STAGE 版</td> <td>11,164</td> <td>585,750</td> <td>596,914</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>16,579</td> <td>587,923</td> <td>604,502</td> </tr> </tbody> </table> <p>・第58巻はSupplement1-1（年会プログラム集：印刷体3,100部）、Supplement1-2（年会 予稿集：電子版のみ）も発行した。</p> <p>【冊子体購読数】 機関会員：44、購読（書店経由）：52、購読会員：8（内名誉会員4） 上記に加え、賛助会員7、寄贈会員10にも送付した。</p>		今期刊行号	バックナンバー	総計	学会 PDF 版	5,415	2,173	7,588	J-STAGE 版	11,164	585,750	596,914	合計	16,579	587,923	604,502
	今期刊行号	バックナンバー	総計														
学会 PDF 版	5,415	2,173	7,588														
J-STAGE 版	11,164	585,750	596,914														
合計	16,579	587,923	604,502														
2-1-2. 欧文誌「Biophysics and Physicobiology」	<p>Vol.15（2018.5-12） Regular Article 9、Review Article 6、Note 1</p> <p>Vol.16（2019.1-4） Regular Article 8、Review Article 3</p> <p>【ダウンロード数（2018年5月～2019年4月）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>今期刊行号</th> <th>バックナンバー</th> <th>総計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,644</td> <td>11,472</td> <td>15,116</td> </tr> </tbody> </table>	今期刊行号	バックナンバー	総計	3,644	11,472	15,116										
今期刊行号	バックナンバー	総計															
3,644	11,472	15,116															
2-1-3. 学会ウェブサイト	<p>・2018年11月、全面的なリニューアルを実施した。</p>																
2-2. 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催（定款第四条第2号関連）																	
2-2-1. 年会運営	<p>・以下の年会を開催した。</p> <p>2018年第56回日本生物物理学会年会 年会実行委員長：沈 建仁 氏（岡山大） 日時：2018年9月15日（土）～17日（月） 場所：岡山大学</p> <p>・以下の年会の開催準備を行った。</p> <p>1) 2019年第57回日本生物物理学会年会 年会実行委員長：永井 健治 氏（大阪大） 日時：2019年9月24日（火）～26日（木） 場所：宮崎シーガイア</p> <p>2) 2019年第58回日本生物物理学会年会 年会実行委員長：大澤 研二 氏（群馬大） 日時：2020年9月16日（水）～18日（金） 場所：群馬コンベンションセンター</p>																

2-2-2. 総会シンポジウム	<ul style="list-style-type: none"> 以下の総会シンポジウムを開催した。 第5回会員総会シンポジウム「生物物理学の根本問題#1: 生物の物理的境界」 日時: 2018年9月16日 12:35-13:55 会員総会中 場所: 岡山大学 B会場 形式: 問題提起・話題提供とパネルディスカッション 問題提起: 宮田 真人 氏 (大阪市大) 話題提供: 宮崎 牧人 氏 (京大)、杉田 有治 氏 (理研)
2-2-3. 各種講演会	42件の協賛・共催・後援を行った。
2-3. 人材育成 (定款第四条第3号関連)	
2-3-1. 男女共同参画・若手支援活動	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画・若手支援シンポジウム 以下のシンポジウムを実施した。 「世代間ギャップから見えてくる今必要な若手研究者支援 — Support for young researchers visible from generation gap」 日時: 2018年9月17日 11:45~12:35 (第56回年会会期中) オーガナイザー: 日本生物物理学会男女共同参画・若手支援委員会 形式: 問題提起プレゼンテーションとグループディスカッション 第56回年会において、キャリア支援説明会として、(株)アカリクの吉野宏志氏を迎え、セミナー等を実施した。 若手の会 2018夏の学校への資金援助 (20万円) を行った。
2-3-2. 男女共同参画学協会連絡会への参画	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画学協会連絡会 運営委員会第16期第3回、第17期第1回、第2回へ出席した (2018年8月24日、12月10日、2019年3月27日)。 第16回男女学協会連絡会シンポジウムに参加、ポスター発表を行った。
2-4. 研究業績と技術的実践の奨励と表彰 (定款第四条第4号関連)	
2-4-1. 若手奨励賞、若手招待講演賞、学生発表賞の選考、授与	<ul style="list-style-type: none"> 第14回若手奨励賞の選考を行い、第56回年会で授賞した。(受賞者5名) 第3回若手招待講演賞の選考を行い授賞した。(受賞者5名) 第3回学生発表賞の選考を行い授賞した。(受賞者21名)
2-4-2. Biophysics and Physicobiology 論文賞	<ul style="list-style-type: none"> 第7回 Biophysics and Physicobiology 論文賞 5報の推薦論文について審査した結果、以下の1論文を第7回 Biophysics and Physicobiology 論文賞とし、第56回年会で授賞した。 Yuki Nakamura, Kayo Hibino, Toshio Yanagida, Yasushi Sako "Switching of the positive feedback for RAS activation by a concerted function of SOS membrane association domains" Biophysics and Physicobiology Vol.13 pp. 1-11 (2016) 第8回 Biophysics and Physicobiology 論文賞 5報の推薦論文について、審査を開始した。
2-4-3. Biophysics and Physicobiology Editors' Choice Award	<ul style="list-style-type: none"> 以下の4報の論文を第5回 Editors' Choice Award 受賞論文とし、第56回年会で授賞した。 Mechanical properties of spindle poles are symmetrically balanced Kazuya Suzuki, Takeshi Itabashi, Shin'ichi Ishiwata Biophysics and Physicobiology, Vol.14, pp. 1-11 (2017) Kinetic characteristics of chimeric channelrhodopsins implicate the

	<p>molecular identity involved in desensitization Alemeh Zamani, Shigeo Sakuragi, Toru Ishizuka, Hiromu Yawo Biophysics and Physicobiology, Vol. 14, pp. 13-22 (2017)</p> <p>Molecular properties of a DTD channelrhodopsin from <i>Guillardia theta</i> Yumeka Yamauchi, Masae Konno, Shota Ito, Satoshi Tsunoda, Keiichi Inoue, Hideki Kandori Biophysics and Physicobiology, Vol. 14, pp. 57-66 (2017)</p> <p>Demonstration of Correlative Atomic Force and Transmission Electron Microscopy Using Actin Cytoskeleton Katsuya Shimabukuro, Hiroki Konno, Yutaro Yamada Biophysics and Physicobiology, Vol. 14, pp. 111-117 (2017)</p> <p>The change of picrotoxin-induced epileptiform discharges to the beta oscillation by carbachol in rat hippocampal slices Ayumi Hashimoto, Toyohiro Sawada, Kiyohisa Natsume Biophysics and Physicobiology, Vol. 14, pp. 137-146 (2017)</p>
2-5. 関連学術団体との連携及び協力 (定款第四条第5号関連)	
2-5-1. 生物科学学会連合への参画	・第18回定例会議(2018年10月1日)、第19回定例会議(2019年4月2日)に出席した。
2-5-2. 他学会との連携	・日本物理学会、日本顕微鏡学会会員の参加発表奨励による連携強化を行った。
2-6. 国際的な研究協力の推進 (定款第四条第6号関連)	
2-6-1. IUPAB(国際純粋および応用生物物理学連合) 関連	・21st IBC(2023年)の開催準備を行った。
2-6-2. ABA(アジア生物物理学連合) 関連	・第56回日本生物物理学学会年会(2018)において、海外とのジョイント・シンポジウムを2件(中国、東アジア)開催した。
2-7. 普及啓発活動	
2-7-1. Biophysics and Physicobiologyの国際情報発信力強化	<ul style="list-style-type: none"> ・投稿を奨励するため、編集支援体制の強化(編集業務支援者の雇用)を実施した。 ・2018年10月、ESCI(Emerging Sources Citation Index)に登録された。 ・2018年10月、Web of Scienceに収録された。
2-7-2. 小中高を対象としたセミナー講師派遣	2019年4月30日現在の講師登録者数は41名。 5件の派遣授業を行い、1件の訪問を受け入れた。
2-7-3. 公開講座	第56回年会において市民講演会を開催した。 日時: 2018年9月16日(日) 会場: 岡山大学創立五十周年記念館 金光ホール 講演者: 天野 浩 氏(名古屋大)、沈 建仁 氏(岡山大)
2-7-4. 物理チャレンジ・国際物理オリンピックへの協力	学会ウェブサイトニュース欄に実施要項を掲載した。
2-7-5. その他国内・国外の啓発イベントへの参加	女子中高生夏の学校(2018年8月)にて、参加者に学会クリアファイル、学会パンフレットを配布した。男女共同参画・若手支援委員の理事1名含む3名がイベントに参加し、参加者への説明を行った。

3. 付属明細

(付属明細1) 処務詳細資料

総会・役員会等に関する事項

3-1-1. 総会（開催日）	2018年6月23日（定時社員総会）、2018年9月15日（臨時社員総会）
3-1-2. 会計監査会（開催日）	2018年5月31日
3-1-3. 理事会（開催日）	<p>2018年6月23日、9月15日、12月15日、2019年2月16日、4月20日</p> <p>・上記のうち、2018年12月15日、2019年2月16日、4月20日に開催された理事会についてはTV会議システムを活用した。</p> <p>メール審議</p> <p>2018年</p> <p>6月1日 東京大学医科学研究所に関する要望書について</p> <p>6月8日 H29年度事業報告書および決算報告書の承認</p> <p>7月19日 科研費説明会講師の交通費および宿泊費の支出について</p> <p>10月15日 宮崎年会参加費の変更について</p> <p>10月24日 ABA2018 若手旅費支援について</p> <p>11月22日 非会員シンポジストに関する方針について</p> <p>2019年</p> <p>1月16日 男女共同参画学協会連絡会からの声明文の承認について</p> <p>1月16日 男女共同参画学協会連絡会からの要望書の承認について</p>
3-1-4. 委員会（開催日）	<p>・出版委員会</p> <p>2018年6月23日、9月15日、12月15日、2019年2月16日、4月20日</p> <p>・男女共同参画若手支援委員会</p> <p>2018年6月23日、9月16日、12月15日、2019年2月16日、4月20日</p> <p>（出版委員会、男女共同参画若手支援委員会ともに、2018年12月15日、2019年2月16日、4月20日開催の委員会はTV会議システムを利用し、それぞれの委員でない理事はオブザーバとして委員会に参加した。）</p> <p>・会誌編集委員会</p> <p>2018年6月16日、9月14日、2019年3月9日</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ Biophysics and Physicobiology 編集委員会 2018年9月15日 ・ ウェブサイト編集委員会 2018年9月14日、10月26日、2019年1月24日、4月9日 ・ 賞選考委員会（メール審議含む） 2018年 <ul style="list-style-type: none"> 5月25日 育志賞 7月17日 文部科学大臣表彰受賞者候補の推薦 7月18日 島津奨励賞 8月8日 朝日賞 9月10日 中谷賞 9月12日 内藤記念振興賞 9月15日 井上學術賞受賞候補者推薦 9月25日 東レ科学技術賞・東レ科学技術研究助成 11月12日 ヤマト科学賞 2019年 <ul style="list-style-type: none"> 2月8日 山田科学振興財団研究援助 2月13日 内藤記念講演助成金 3月11日 江崎玲於奈賞 3月22日 日本學術振興会賞 <p>上記の各賞に候補者を推薦した。</p>
--	---

契約・入札・他に関する事項

- ・ 主な新規契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約の種類	期間等
2019年4月1日	大阪大学総長	賃貸契約	2019年4月1日～2020年3月31日

- ・ 入札に関する事項（なし）
- ・ その他の事項（なし）

(付属明細2) 会員の異動状況

会員種別		会員数		増減
		2018年4月30日現在	2019年4月30日現在	
正 会 員	一般会員	2,077	1,998	▲79
	学生会員	991	927	▲64
	シニア会員	60	54	▲6
名誉会員		21	20	▲1
機関会員		47	45	▲2
賛助会員		8	6	▲2
総計		3,204	3,050	▲154

今期の新規入会者数

一般会員 67名 (うち、紹介キャンペーン利用者 5名)

学生会員 247名

(付属明細3) 事務局の現況 (2019年4月30日現在)

会長室	アルバイト1名
-----	---------